



「住まい」「しごと」「スポーツ・文化」3拍子揃った定住空間、 交通とデータの集積・活用でさらに進化

高い利便性とストレスマネジメントに有用な「サードプレイス」が集積し、ミレニアルズ世代の理想郷に!

POINT! 「住まい」: 新幹線の開業を契機とする駅周辺のまちづくりが進行中



提供: 諫早市

諫早駅周辺整備事業

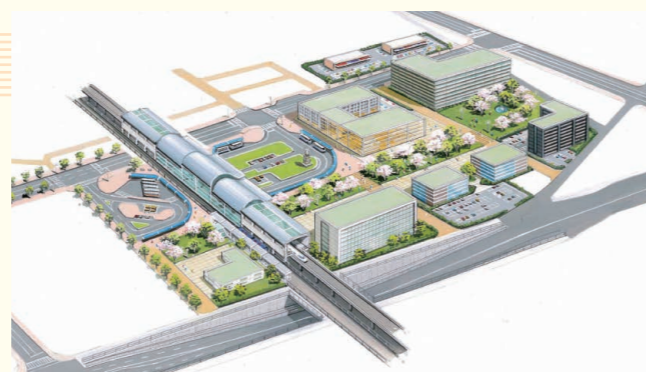
鉄道と二次交通(バス・タクシーなど)との更なる交通結節機能の強化、商業・業務機能の集積、そして、まちなか居住の促進により、諫早市の『コンパクト+ネットワーク』の核として“住みやすさ”が向上します。

新大村駅周辺整備事業

新幹線駅は在来線への乗換えが可能な新設駅であり、新幹線車両基地の西側にも在来線駅を新設するなど、周辺の道路設備も含め、交通利便性が向上。交通利便性と快適性を活かし、市外からの人口誘引(特に若者・ファミリー層)や企業誘致等を牽引する地域としてのまちづくりが進められています。



提供: 鉄道・運輸機構



POINT! 「スポーツ・文化」: 環大村湾地域でスポーツ・文化を活かしたまちづくりが進行

諫早市では新たなスポーツ拠点完成しています。また大村湾の絶景や豊かな自然の中を自転車で周遊するサイクリングイベント「大村湾ZEKKEI(ぜっけい)ライド」、多良山の森の中を駆け巡る「多良の森トレイルランニング」、諫早湾干拓地周辺を1周する「諫早・雲仙ウルトラウォーキング」などのスポーツイベントの開催や、本明川下流域の競技用ボート練習場としての活用促進など、スポーツの取組がさかんに行われています。そして、長崎県・大村市の一体型図書館ミライオン図書館が2019年10月に開館し、文化面での振興も期待されます。



諫早市の新たなスポーツ拠点・久山港スポーツ施設



多良の森トレイルランニング



大村湾ZEKKEIライド



諫早・雲仙ウルトラウォーキング



本明川での競技用ボートの練習



ミライオン図書館

POINT! 「しごと」: 交通アクセスに優れた新たな工業団地が続々と誕生



ソニーの新工場建設

スマホのカメラ多眼化や大型化で、CMOSイメージセンサーへの需要が爆発的に拡大。ソニーが諫早市拠点への新工場建設を決定しました。大卒エンジニアを中心に1000人規模の新たな雇用が見込まれており、県内外の大卒新卒者やUターン希望者を呼び込む契機となること期待されます。

南諫早産業団地

諫早市の市街地から南に約3km、市のほぼ中央にあり、市内のどこからでも短時間でアクセスでき、長崎自動車道(諫早IC)直結の地域高規格道路「島原道路」の栗原ICまで約2kmと、人の移動や物資の輸送に抜群の利便性を持つ「内陸型工業団地」です。1工区約11haは令和2年末頃、2工区約9haは令和3年末頃から分譲開始予定です。



第2大村ハイテクパーク

大村ICまで5km、新大村駅まで6km、長崎空港まで10kmという好立地に位置する新工業団地が分譲中です。近隣には、「大村ハイテクパーク、オフィスパーク大村」(約50ha)があり、県の工業技術センター、環境保健研究センター、建設技術研究センターなどの研究機関が充実しています。

POINT! 長崎のゲートウェイ機能が集約(空港、新幹線駅、高速ICが車で10分圏内に立地)



24時間運用を目指す長崎空港



九州新幹線(西九州ルート)が開業予定

県央地域は、長崎空港、高速道路のインターチェンジを擁し、県内及び県外地域を陸路・空路で結ぶ交通の要衝であり、今後、諫早駅、新大村駅(仮称)の2つの新幹線駅が整備されるとともに、長崎空港の24時間運用が実現できれば、さらなる発展が期待されています。

+ プラスONE

+ 「大村湾データコンソーシアム(データプラットフォームの構築)」によるスマートシティ化への挑戦

人流解析・購買分析データ、行政データ、交通情報データ、健康・医療データ等を収集・組み合わせ、産業活性化や様々な社会課題に対する新サービス・事業創出等を行う。スマートシティの実現を目指す。

期待される 相乗効果 連携

- 「住まい」「しごと」「余暇」の地域資源を、情報技術の力で効率的に、かつ住民の満足度を高める方向で利用し、圏域全体をスマートシティへ変革。
- 居住性の高さが製造拠点の吸引につながり、製造事業所の投資を促進。